

## 弘前市立病院改革プランの点検・評価報告(令和2年度実績)

### 1. 弘前市立病院改革プランの点検・評価について

当院は、公立病院が地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくための抜本的な改革の実施を目的とした「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、「弘前市立病院改革プラン」(以下、「改革プラン」という。)を策定(平成30年3月策定、令和元年8月改訂)しました。

この「改革プラン」については、決算状況を踏まえ、毎年、点検・評価することとしております。

なお、令和2年度の計画値は、令和元年度当初予算を基にしており、今回の点検・評価は、令和2年度実績と計画値の比較によるものです。

また、「改革プラン」の収支計画は、総務省の決算統計に基づき作成しているため、弘前市病院事業会計とは項目で異なる箇所があります。

### 2. 点検・評価

#### 1) 経営成績

収入については、令和元年度の一般外科の休診等による常勤医師の減少、令和2年度の眼科外来の休診などによる患者数の減少に伴い、料金収入が減少した結果、医業収益は計画値を下回りました。

一方、医業外収益については、他会計負担金・補助金(一般会計からの繰入金)及び国(県)補助金(新型コロナウイルス感染症に係る補助金など)が増となったことにより、計画値を上回りました。

支出については、職員数や患者数の減少などに伴い、医業費用、医業外費用ともに、計画値に比較して支出減となりました。

以上の結果、経常損益及び純損益は、計画値よりも改善され、黒字となりました。また、資金不足比率についても、計画値よりも改善され、資金不足は発生いたしませんでした。

## 【収入】

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
医 業 収 益	2,129,055	2,625,777	<b>1,933,672</b>	▲ 692,105
料 金 収 入	1,920,178	2,434,009	<b>1,731,029</b>	▲ 702,980
入院収益	1,083,882	1,401,527	<b>938,773</b>	▲ 462,754
外来収益	836,296	1,032,482	<b>792,256</b>	▲ 240,226
そ の 他	208,877	191,768	<b>202,643</b>	10,875
医 業 外 収 益	963,866	887,582	<b>1,600,558</b>	712,976
うち他会計負担金・補助金	936,090	862,562	<b>1,359,481</b>	496,919
うち国(県)補助金	3,129	3,546	<b>225,777</b>	222,231
経 常 収 益	3,092,921	3,513,359	<b>3,534,230</b>	20,871

## 【支出】

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
医 業 費 用	3,093,724	3,661,345	<b>2,937,987</b>	▲ 723,358
職員給与費	1,544,883	1,774,118	<b>1,575,747</b>	▲ 198,371
材料費	557,736	760,161	<b>534,710</b>	▲ 225,451
経費	798,795	944,092	<b>658,936</b>	▲ 285,156
減価償却費	174,612	161,504	<b>161,859</b>	355
その他	17,698	21,470	<b>6,735</b>	▲ 14,735
医 業 外 費 用	133,598	164,432	<b>134,974</b>	▲ 29,458
経 常 費 用	3,227,322	3,825,777	<b>3,072,961</b>	▲ 752,816

## 【損益等】

(単位:千円、%)

項 目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
経 常 損 益	▲ 134,401	▲ 312,418	<b>461,269</b>	773,687
純 損 益	▲ 121,444	▲ 313,868	<b>461,941</b>	775,809
資 金 不 足 比 率	10.0	15.5	(※) <b>▲ 21.5</b>	▲ 37.0 ポイント

(※) 資金不足比率がマイナスの場合、資金不足額なし

## 2) 医療機能等指標に係る数値目標

令和元年度からの一般外科の休診に伴う二次救急輪番の実施回数の減などにより、救急患者数、手術件数ともに、計画値を下回りました。

(単位:人、件)

項目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
救急患者数	1,894	3,200	<b>1,631</b>	▲ 1,569
手術件数	173	360	<b>126</b>	▲ 234

## 3) 経営指標に係る数値目標

### (1) 収支改善に係るもの

医業収支比率は計画値を下回ったものの、経常収支比率、資金不足比率は目標を達成しました。これは、主に一般会計からの繰入金が増となったことによるものです。

(単位:%)

項目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
経常収支比率	95.8	91.8	<b>115.0</b>	23.2 ポイント
医業収支比率	68.8	71.7	<b>65.8</b>	▲ 5.9 ポイント
資金不足比率	10.0	15.5	(※) ▲ <b>21.5</b>	▲ 37.0 ポイント

(※) 資金不足比率がマイナスの場合、資金不足額なし

### (2) 経費削減に係るもの

薬品費の対医業収益比率、後発医薬品指数は、目標を達成しました。当院は専門的な知識・経験を有する経営コンサルタントを活用した医薬品等購入の価格交渉・価格検討、後発医薬品への切り替えの推進による経費削減を図っており、今後も継続して参ります。

職員給与費については、正職員の採用を見送っていることから、減少傾向にあります。しかしながら、医療体制が厳しい状況となり、医業収益が給与費の減少割合を超えて減少したため、職員給与費の対医業収益比率は計画値よりも上昇しております。

(単位:%,千円)

項目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
薬品費の対医業収益比率	17.2	19.3	<b>18.8</b>	▲ 0.5 ポイント
後発医薬品指数	89.7	87.7	<b>90.5</b>	2.8 ポイント
職員給与費の対医業収益比率	72.6	67.6	<b>81.5</b>	13.9 ポイント
【参考】職員給与費(退職給付費を除く)	1,471,433	1,638,358	<b>1,510,853</b>	▲ 127,505

### (3) 収入確保に係るもの

令和元年度の一般外科の休診等による常勤医師の減少、令和2年度の眼科外来の休診などにより、入院、外来ともに患者数が減少した結果、病床利用率、1日当たり患者数ともに計画値を下回りました。

(単位: %、人)

項目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
病床利用率	31.8	40.0	27.8	▲ 12.2 ポイント
1日当たり入院患者数	79	100	70	▲ 30
1日当たり外来患者数	247	300	202	▲ 98

### (4) 経営の安定性に係るもの

正職員の採用を見送っている中、常勤医師の減少、看護師等の医療スタッフの退職により、医師数、看護職員数ともに計画値を下回りました。

このため、当院の経営環境は厳しさを増しておりますが、一般会計からの繰入金を増加することにより、一時借入金は発生いたしませんでした。

(単位: 人、千円)

項目	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
医師数	15	19	14	▲ 5
看護職員数	130	142	119	▲ 23
一時借入金残高	207,586	397,018	0	▲ 397,018

## 3. 総評

「改革プラン」は、当院と国立病院機構弘前病院との統合による新中核病院の整備がなされるまでの間、当院の経営を維持することを目的に、対象期間を平成29年度から令和2年度までとして策定されたものです。

対象期間中は、正職員の採用見送り、退職などの影響により医療体制が厳しさを増す中、患者数の減少による収益の減少を、一般会計からの繰入金の増加により補うことで経営を維持する状況が続きました。

特に、対象期間の最終年度である令和2年度においては、繰入金の増加により、資金不足額の解消という目標は達成いたしました。しかしながら、医業収益は減少傾向が続いており、依然として厳しい経営状態にあります。

#### 4. 今後について

当院は現在、「新中核病院の整備及び運営に係る基本協定」(平成30年10月4日締結)に基づき、国立病院機構弘前病院との統合による新中核病院の整備を目指し、国立病院機構と協議を進めているところです。新中核病院((仮称)独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター)は令和4年4月1日に開院予定であり、これに伴い、当院は令和4年3月31日で閉院となります。

令和3年度以降の新たな改革プランにつきましては、当院が令和3年度末で閉院となることから、策定しないことといたしますが、閉院までは診療機能を維持するための取り組みを引き続き実施し、地域医療の中核的な担い手としての役割を果たして参ります。

【参考資料】収支計画(改革プラン別紙)

1) 収益的収支

(単位: 千円、%)

区分		年度	令和2年度		
		令和元年度	計画	実績	比較
収	1. 医業収益 a	2,129,055	2,625,777	1,933,672	▲ 692,105
	(1) 料 金 収 入	1,920,178	2,434,009	1,731,029	▲ 702,980
	(2) そ の 他	208,877	191,768	202,643	10,875
	うち他会計負担金	156,896	126,128	161,926	35,798
	2. 医業外収益	963,866	887,582	1,600,558	712,976
	(1) 他会計負担金・補助金	936,090	862,562	1,359,481	496,919
	(2) 国(県)補助金	3,129	3,546	225,777	222,231
	(3) 長期前受金戻入	10,317	3,795	3,796	1
	(4) そ の 他	14,330	17,679	11,504	▲ 6,175
		経 常 収 益 (A)	3,092,921	3,513,359	3,534,230
入	1. 医業費用 b	3,093,724	3,661,345	2,937,987	▲ 723,358
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,544,883	1,774,118	1,575,747	▲ 198,371
	(2) 材 料 費	557,736	760,161	534,710	▲ 225,451
	(3) 経 費	798,795	944,092	658,936	▲ 285,156
	(4) 減 価 償 却 費	174,612	161,504	161,859	355
	(5) そ の 他	17,698	21,470	6,735	▲ 14,735
	2. 医業外費用	133,598	164,432	134,974	▲ 29,458
	(1) 支 払 利 息	18,866	17,899	17,516	▲ 383
	(2) そ の 他	114,732	146,533	117,458	▲ 29,075
		経 常 費 用 (B)	3,227,322	3,825,777	3,072,961
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 134,401	▲ 312,418	461,269	773,687
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	13,163	50	69,006	68,956
	2. 特 別 損 失 (E)	206	1,500	68,334	66,834
	特別損益(D)-(E) (F)	12,957	▲ 1,450	672	2,122
	純 損 益 (C)+(F)	▲ 121,444	▲ 313,868	461,941	775,809
	累 積 欠 損 金 (G)	3,613,514	4,048,635	3,151,573	▲ 897,062
不良債務	流 動 資 産 (ア)	368,067	303,918	770,442	466,524
	流 動 負 債 (イ)	666,123	796,305	440,002	▲ 356,303
	うち一時借入金	207,586	397,018	0	▲ 397,018
	翌年度繰越財源(ウ)				
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)				
差引	不 良 債 務 (オ)	213,490	406,486	▲ 416,341	▲ 822,827
	経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.8	91.8	115.0	23.2 ポイント
	不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	10.0	15.5	▲ 21.5	▲ 37.0 ポイント
	医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	68.8	71.7	65.8	▲ 5.9 ポイント
	職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	72.6	67.6	81.5	13.9 ポイント
	地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	213,490	406,486	▲ 416,341	▲ 822,827
	資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	10.0	15.5	▲ 21.5	▲ 37.0 ポイント
	病 床 利 用 率	31.8	40.0	27.8	▲ 12.2 ポイント

## 2) 資本的収支

(単位: 千円、%)

区分		年度	令和2年度		
		令和元年度	計画	実績	比較
収 入	1. 企業債				
	2. 他会計出資金	211,030	214,898	<b>223,294</b>	8,396
	3. 他会計負担金				
	4. 他会計借入金				
	5. 他会計補助金				
	6. 国(県)補助金				
	7. その他				
	収入計 (a)	211,030	214,898	<b>223,294</b>	8,396
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)				
	前年度許可債で当年度借入分 (c)				
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	211,030	214,898	<b>223,294</b>	8,396	
支 出	1. 建設改良費	127,777	130,331	<b>138,728</b>	8,397
	2. 企業債償還金	83,253	84,567	<b>84,566</b>	▲ 1
	3. 他会計長期借入金返還金				
	4. その他				
	支出計 (B)	211,030	214,898	<b>223,294</b>	8,396
差引不足額 (B)-(A) (C)		0	0	<b>0</b>	0
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金				
	2. 利益剰余金処分量				
	3. 繰越工事資金				
	4. その他				
計 (D)	0	0	<b>0</b>	0	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	<b>0</b>	0
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (F)					
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	<b>0</b>	0

## 3) 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位: 千円)

	令和元年度	令和2年度		
	実績	計画	実績	比較
収益的収支	( 621,610) 1,092,986	( 501,773) 988,690	( <b>1,037,318</b> ) <b>1,521,407</b>	( 535,545) 532,717
資本的収支	( 91,122) 211,030	( 92,835) 214,898	( <b>97,033</b> ) <b>223,294</b>	(4,198) 8,396
合計	( 712,732) 1,304,016	( 594,608) 1,203,588	( <b>1,134,351</b> ) <b>1,744,701</b>	( 539,743) 541,113

(注)

1 ( )は基準外繰入金額の内数

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。